

平成21年 第4回江田島市議会定例会一般質問〔6月〕

| 質問者 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|------------|----------------------------|---|-----|
| 1 浜西 金満 | 健康・長寿の対策について | <p>6月号の「広報えたじま」で江田島市内の男性の平均寿命が77.7歳で、県内23市町の中でワースト1、そして女性の平均寿命が85.4歳でワースト2ということが報じられており、大変ショックを受けています。</p> <p>市においても、食生活の改善や健康診査・健康教育の開催など、健康増進のための取り組みをされていることと思いますが、県内平均寿命ワースト1・2からの脱却には現状での原因を究明し、市民が元気で長生きするための的確な健康づくりを推進する必要があると考えるが、今後市長はどのような対策をお考えかお伺いいたします。</p> | 市長 |
| 2 越野 哲也 | 障がい者・高齢者福祉について | <p>平成21年度から第2期障がい者福祉計画と江田島市老人福祉計画、第4期介護保険事業計画が策定されているところであります。</p> <p>歳入が減少するなか、福祉のための予算確保は厳しい状況です。入所型の施設が少ないこと、福祉従事者の労働条件が整っていないなど、問題は山積みしています。</p> <p>これからの福祉全般における、重要課題や重点施策についてお尋ねします。</p> | 市長 |
| 3 胡子 雅信 | (1) NLP施設の候補地選定について | <p>中国新聞5月3日に特集されていましたが、今年7月またはその後の早い時期にNLP施設の候補選定が行われます。</p> <p>1 江田島市は岩国基地増強計画反対広島県連絡会議および岩国基地NLP移転反対期成同盟に加盟しています。加盟自治体間で今回の件について情報交換はしていますか。</p> <p>2 他自治体と連携して情報収集をしていますか。</p> <p>3 今回の新聞報道で市民からの問い合わせはありますか。</p> <p>江田島市近隣が候補地として選定される可能性もあります。</p> <p>対策室等を設けることも検討すべきと考えますがどうですか。</p> | 市長 |
| | (2) 交通船事業および市全域の海上交通等について | <p>1 交通船事業について</p> <p>(1) 市職員の6月期末手当カットと連動して全日本海員組合と何らかの交渉をしているのかどうか。</p> <p>(2) 地方公営企業法第38条第3項および江田島市船員の給与の種類及び基準に関する条例第16条および第17条についてどう考えますか。</p> <p>(これまでの期末・勤勉手当支給率は法律および条例の許容範囲内と考えているかどうか。)</p> <p>(3) 国民宿舎事業同様に専門のコンサルタントに経営改善計画を委託してみてもどうか。また、隠岐汽船の例のように指定管理者制度の検討もしてみてもどうか。</p> <p>2 市全域の海上交通等について</p> <p>呉・広島への海上交通は市民の生命線です。少子高齢化により今後5年以内に通勤・通学利用者は急速に減少すると思われます。</p> <p>昨年の燃料高騰や利用者減により民間航路会社も体力の限界に来ているのではないかと。持続可能な江田島市であるために現役世代流失は防がなければなりません。市として特別プロジェクトチームを早急に編成すべきと考えますがどうでしょうか。</p> <p>(行政にしかできない重要な仕事と考えます。)</p> <p>船便とバスとの接続が良くないという市民の声もまだありますが利用者の声を一度聞いてみてはどうかと思います。</p> | 市長 |
| | (3) 下水道事業見直しと市民負担の公平性等について | <p>下水道見直しについて一部地域に住民説明会を始めています。</p> <p>1 見直すことによって市の建設費負担軽減額はどの程度ですか。</p> <p>(国等の補助金を除くいわゆる真水部分。)</p> <p>(1) 全体事業費ベース</p> <p>(2) 平成20年度工事予定であった地区(今回対象を外された)</p> <p>2 見直しにより下水道整備地区から外れ、合併浄化槽を設置することによる市民負担増についてどう考えるか伺います。</p> | 市長 |

| 質問者 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|--------------------|--------------------------|--|-----------|
| | | <p>(1) 管渠築造工事開始直前で市が急ぎよ計画変更し、対象外地区となり、合併浄化槽設置の補助金は増額されたが、設置場所への搬入方法等で設置費用が割高となる場合。(受益者負担か?)</p> <p>(2) 合併浄化槽から出てくる処理水の排水経路確保のために費用がかかる場合。(受益者負担か?)</p> <p>(3) 浄化槽と下水道では市民の負担に差が出る。かつ赤字補てんを税金で賄っていることによる不公平感が住民側からの意見にあるがこの点はどうか。</p> <p>3 下水道法第11条の3第3項、第4項の実例はありますか。</p> | |
| <p>4 山根 啓志</p> | <p>(1) 温暖化による海面上昇対策は</p> | <p>1998年世界各国のサンゴ礁でサンゴの死である白化現象が起き、水温上昇が原因と考えられ、温暖化が地球上に具体的な被害を与えた最初の例であるといわれております。</p> <p>世界が協力して温暖化を防止しようと京都議定書が採択されましたが、なかなか目標を達成することが困難な状況であります。</p> <p>今では、我々一般の人までが気候などの異常を肌で感じるようになっております。その1つに我々の生活への影響が大きい台風があります。スーパーコンピューターで「地球シミュレーション」すると、今後台風やハリケーンの発生数は減るが、巨大化することを示しております。また、温暖化の影響をうけて、高山の氷河や北極やグリーンランドにある氷が溶けており、海面上昇、洪水や高潮の被害が増えています。</p> <p>先般の中国新聞にも記載されておりましたが、この100年で気温が2度上昇したとあり、広島港の平均潮位は40年間で20.4cm上昇しております。「気候変動に関する政府間パネル」の報告によると、海水面の上昇は更に19～58cm上昇するとの説があります。本市においては、四方を海にかこまれ、直接的な影響が懸念されます。中長期計画を策定し、対応を検討する必要があると考えるが、市長の所見をお聞きいたします。</p> <p>さらに、近年の台風による本市の浸水状況も合わせてお尋ねいたします。</p> | <p>市長</p> |
| | <p>(2) 火災警報器の助成について</p> | <p>本市において、21年1月～5月までに火災件数は10件で、うち建物火災が半数の5件と高い比率をしめております。この状況は、昨年とほぼ同じ状況であります。今年の特徴は2名の高齢者の方が死亡されておることです。</p> <p>2011年5月までに火災警報器の設置が義務づけられました。もし、警報器が設置されていたら尊い命が救われたかもわかりません。他の自治体においては、警報器購入に助成をするところもでてきております。</p> <p>安全・安心の実現のためにも、2011年を待たず特に高齢者家庭においては、早急に購入の助成を行い安全確保を図るべきだと考えますが、市長の所見をお聞きいたします。</p> | <p>市長</p> |
| | <p>(3) 津久茂架橋について</p> | <p>田中市長になられて半年が過ぎましたが、その間、津久茂架橋についての質問もなく答弁をする機会が与えられず、さぞイライラされていたことと思います。</p> <p>前市長は、津久茂架橋を施策の1つにあげておりましたが、田中市長においてはこの問題をどのような位置づけで、お考えかお聞きいたします。</p> | <p>市長</p> |
| <p>5 野崎 剛陸</p> | <p>ごみの減量化と環境美化について</p> | <p>1 ごみの減量化 燃えるごみは、市リレーセンターを中継してクリーンセンター呉で焼却処分しているが、減量は財政負担の軽減になり、かつ地球温暖化の抑止になる。 今後のごみの減量化対策についての考えを伺います。</p> <p>2 不法投棄の防止 道路の路肩・空き地・山道等へ家電製品等が不法投棄されているのを多々見受けます。美観を損ねていることから早急に適切な処理をすべきと思いますが、市は現在どのように対応しているのか。また、不法投棄防止についてどのような対策をしているのかお伺いします。</p> <p>3 海ごみの回収 海上の浮遊ごみも環境美化上問題がある。海底ごみは、漁業資源の育成に弊害があります。これの抑止と回収対策についてお伺いします。</p> <p>4 植木剪定枝チップ・リサイクル事業について 剪定葉枝は、リレーセンターに搬入されると生ごみと同様に呉に運搬して焼却しているが、チップ化して土壌に返せば「ごみの減量化」やリサイクルになります。</p> | <p>市長</p> |

| 質問者 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|------------|------------------|---|-----|
| | | 市シルバー人材センターは、高齢者の雇用の場を確保するため新規事業として植木剪定枝チップ事業を企画しているが、要請があれば支援は可能か。お伺いします。 | |
| 6 太刀掛隼則 | 障がい者の雇用対策について | 障がい者の雇用の促進に関する法律が平成17年に改正されました。 就業機会の拡大・障がい者の職業的自立を図ることが強く求められております。 次の3点、質問します。 1 本市に障がい者が何人おり、就業していない、また就業を希望しながら職に就けない方が何人いるのか。 2 市が障害者を何人採用し、また法定雇用率に達しているか。 3 一般事業主に対しても雇用義務が課せられております。市内の企業でこの率に達しているところは少ないと推察いたしますが、実態を把握しておられるかどうか。 また、法定雇用率に達していない企業に対しては、雇用の促進について市としても協力依頼する必要があると思いますが、市長の所見をお伺いします。 | 市長 |
| 7 山本 一也 | (1) 協働のまちづくりについて | 市長は持続可能な江田島市を目指しておられますが、市総合計画にどのように施策を盛り込まれたのか。 協働のまちづくりは、市民に対しどのような方法で周知を図るのかお聞きします。 | 市長 |
| | (2) 大柿高校の分校化について | 5月20日の中国新聞に掲載されておりました。広島県教育委員会は、小規模校の分校化を検討したようですが、その趣旨と方針の内容をお聞きします。 また、分校化が検討されていることについて今後、どのように対応されようとしているのか市長の考えをお伺いします。 | 市長 |
| 8 住岡 淳一 | 地域活性化の方策・具体策について | 現在、小泉内閣時の規制緩和と価格破壊により今までの地域のシステムに影響が出てきています。 安芸郡府中町では、商工会の会員減少により県からの補助金が大幅にダウンしたとのこととです。商工会の組織率は50%を割ったことによります。 本市も対岸の火事とならないためにも、今からでもいろいろと方策を検討するべきではないでしょうか。ちなみに、我が江田島市の商工会員数平成10年1,110会員、平成21年は837会員、実に273会員の減少です。また、高齢の方々が営業しているため今後において大変な危機に直面している状況ですが、どのようにお考えですか。 | 市長 |
| 9 鎌田 哲彰 | 交通船事業について | 交通船事業（フェリー）について 1 6便になってからの輸送量の状況は 2 他民間航路の利用状況は把握しているか（特に通勤車両の数は） 3 車両は1日平均何台の利用で採算ベースか 4 宇品発07:35—高田着08:14便（始発）の島内への通勤車両の平日利用状況は 今後の交通船事業について、特にフェリーの採算を考えると今の運行形態では絶対に利益は見込めないであろうと考えます。 もう危険信号が点滅していると思います。 その意味で次の2点についても質問をいたします。 1 広島市内から陸路で通勤している車両を、フェリーに乗ってもらう施策はないか。また、その営業努力をしているか。 2 運行体系を一元化することは考えていないか。 旅客や車両の減少が進む中、交通船事業の経営改善は本市の人口を維持するうえでの最重要課題であります。 この際、早急に抜本的な改革に取り組む必要があると考えるが、市長の所見を伺う。 | 市長 |

| 質問者 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|-------------|---------------------------|---|-----|
| 10 登地 靖徳 | 合併5年間の総括について | <p>合併は、地方分権の進展、少子高齢化の進行、住民の日常生活圏の拡大、行政ニーズの高度化また多様化、国・地方の厳しい財政状況等市町村を取り巻く環境の変化に対応するための、極めて有効な手段としてなされました。</p> <p>しかし、「合併して良かった」という住民の声は、なかなか聞こえてこないのが現実です。</p> <p>その理由として、合併は地域の将来のために行ったものであり、その効果が現れるまでには一定の期間が必要であること。また、三位一体の改革等の国の地方財政改革が合併と時期を同じくして進められたため、財政的にかえって厳しくなったとの印象を持たれていること。あるいは、行財政改革の視点から行われた一部福祉事業の見直し・廃止、保険料等のアップによる住民負担の増加が、合併によるデメリットと誤解されていることなどが考えられると思います。</p> <p>そこで、合併から5年間の総括してお伺いします。</p> <p>広域的な視点からの地域づくり、まちづくり、住民サービスの向上、行財政の運営の効率化と基盤強化等、合併効果の検証はなされているのか、検証がなされていないのであれば早急に検証し課題を整理して、将来合併して良かった、住んで良かったと思われる江田島市を実現するための取り組みが必要であると考えますが、市長の所見を伺います。</p> | 市長 |
| 11 扇谷 照義 | 江田島市のインフラ整備について | <p>現代の情報化社会におけるインフラ整備はめざましいものがあります。</p> <p>特に若い世代の人にとって、パソコン・携帯電話等は必要不可欠なものとなっていますが、市内では、ネット回線等情報収集が困難な地区があるという声を聞きます。</p> <p>江田島市総合計画の中にも「情報通信基盤の整備は日常生活においても不可欠な基盤であり、定住促進においても基礎的な条件である。」と記されているように、情報通信の基盤整備は大変重要な課題だと思っております。</p> <p>今後のインフラ整備について、市長の考えをお伺いします。</p> | 市長 |
| 12 石下 洋子 | (1) オバマ米大統領の核兵器廃絶への演説に対して | <p>オバマ米大統領は、4月5日にプラハで行った演説で、核兵器廃絶を国家目標とすることを初めて明示するとともに、「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的な責任がある」と述べ「核のない世界」に向けて「一緒になって平和と進歩の声を高めなければならない」と世界の諸国民に協力を呼びかけました。</p> <p>こうした発言は、人類にとっても、私たち被爆国の国民にとっても歴史的な意義を持つものであり、たいへん感銘を受けたものですが、被爆地広島に住む自治体の長として、これをどのように受けとめ、今後どのような行動を取るつもりですか。</p> | 市長 |
| | (2) 生活保護の母子加算に代わる制度を | <p>生活保護世帯のうち母子世帯には母子加算が上乗せされていましたが、07年度から縮小され09年度で全廃されました。</p> <p>母子加算を含めた生活扶助費が、一般の母子世帯の平均的な消費水準を上回っているからということですが、加算のない生活扶助で子どもを育て、教育を受けさせることは非常に困難です。どの子どもにも平等に教育を保障するために、市として母子加算に代わる制度を創設すべきと思いますが、いかがですか。</p> | 市長 |
| | (3) 中学卒業まで医療費を無料に | <p>県内の自治体のほとんどが医療費を「就学前」より上の学年まで無料にしており、制度の拡大・充実が進んでおります。</p> <p>三次市、世羅・神石高原町は、入・通院とも「中学卒」まで、三原・安芸高田・庄原市、安芸大田町は、入・通院とも「小学卒」、呉・竹原・尾道・府中・福山・大竹・東広島市、府中・海田町は、入院が「小学卒」まで無料です。</p> <p>江田島市は、現在、小学3年まで、入・通院が無料（一部負担あり）となっておりますが、子どもが平等に医療が受けられるように、また、少子化対策の一環として「中学卒」まで無料にと思いますが、いかがお考えですか。</p> | 市長 |
| | (4) 農業後継者育成制度の創設を | <p>庄原市では農業後継者育成を目標に市内で新しく農業経営を目指すため営農研修をする人に研修奨励金を支給する「農業後継者育成事業」を立ちあげ、研修者に対して2年間で月に10万円の奨励金を支給するとのことでした。</p> <p>江田島市でも農業人口を増やすために、また、若者の定住を促進するためにも、農業後継者育成事業を創設すべきだと思っておりますが、いかがですか。</p> | 市長 |

| 質問者 | 質問事項 | 質問要旨 | 答弁者 |
|-------------|---------------------|---|-----|
| | (5) 国保の特定検診の受診率について | <p>江田島市の国保の特定受診率が23%と報じられました。受診率については国からも向上が求められていますが、国から求められたからではなく、住民の健康を守るという観点から早急に受診率の向上に取り組まなければならないと思います。市としてはどのような対策を考えておられますか。</p> <p>次のことについてもご報告ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 従来、実施していた住民検診の基本検診の受診率の推移 2 住民検診の検診場所が変わった地域の受診率の推移 | 市長 |
| 13 沖 也寸志 | 農業団地について | <p>大柿町深江地区に読売ゴルフから譲渡された土地があります。</p> <p>以前、市内建設業者を対象に農業団地として開発する説明会を開いたと聞いております。しかし、諸条件が整わず未着手のまま現在に至っています。</p> <p>異業種から農業に参入する事例が増加していますが、本市として今後どのような施策を推進するのか。また、沖野島を含む周辺の地域は海生交流都市として、魅力があると思いますか。</p> <p>市長のご所見をお尋ね致します。</p> | 市長 |
| 14 前田 鎮夫 | (1) 行政改革等への取り組みについて | <ol style="list-style-type: none"> 1 行革に伴う今後の対策について <p>これまで行財政改革を実施して、市民生活に不便・がまんを強いていることもあります。中でも支出予算の圧縮から地域の生活道路、公共施設で補修もできず、荒れてこれ以上放置できないような状態のものも多くあります。これからの補修改良はどのように考えていくのかお聞きします。また、改革の下に経費節減、職員等の人件費削減・組織改革も実施されたが、市の公的委員会等の改革も必要と思いますがいかがでしょうか。</p> 2 行革プランについて <p>本年度中には第2次の行財政改革プランが示されると思うが、市民生活に大きな影響があるような改革案については事前に議会や市民の声を聞くなどの調整について伺います。</p> 3 経済活性化対策について <p>地域に活力がないとどのような施策も実施効果は薄いと思う。国・県も社会経済の実情から行財政改革を先延ばしして経済活性化対策を実施している。市の対策について具体的なプランをお聞きします。</p> 4 廃屋対策について <p>最近市内で廃屋が目立つように感じます。地域の活性にも悪いイメージとなり、周囲に連鎖するのではないかと心配します。実態調査をして対策も考えておく必要があると思いますが、どのようにお考えですか。</p> | 市長 |
| | (2) 県道改良の推進について | <p>市内主要道路で特に交通量の多い江田島町中央、江南、大柿町柿浦の県道については、渋滞も激しく大型観光バス等は通行に困難している様子もある。</p> <p>道路改良について県に改良実現を強力に働きかけていただきたいと思いますが、これまで改良推進行動はやられていたのかお伺いします。</p> | 市長 |